



高西小だより

H24. 7. 20(金) 校長: 古屋 N08

学校教育目標

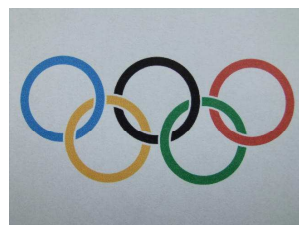
夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

17日、梅雨が明け本格的な夏の到来となりました。西日本各地では記録的な豪雨が続き、甚大な被害が出ました。その様子を見る度に心が痛む毎日でした。ここでも「過去に例がないほどの・・・」という言葉が何度も繰り返されていましたが、これからの時代、「これまでは」という過去の例やマニュアルといったものを鵜呑みして行動することはとても危険なことかも知れません。やはり、今日の教育で求められている「生きる力」である「自らが状況を的確に捉え判断し行動できる力」が必要となります。

さて、74日にわたる1学期間の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。この1学期を無事終わることができましたのも保護者の皆様のご理解のお陰と深く感謝申し上げます。いよいよ24日(火)から夏休みが始まりますが、暑さゆえに楽しめること、体験できることは一杯あります。長い夏休みを利用して、一歩でも二歩でもたくましく成長できることに挑戦して、心に残る夏休みにしてほしいと思います。ニュースでは、熱中症や水の事故、交通事故が毎日のように報道されています。くれぐれも事故の無いよう、もう一度「安全は全てに優先する」ことを再確認され、2学期の始業式には、子どもたち全員が元気に登校できますようよろしくお願いいたします。

オリンピックのシンボルマーク「五輪」の意味は？

先日の全校集会で「五輪」マークの5色についてお話しをしました。(左側から)青・黄・黒・緑・赤の5つが5大陸(アジア・アメリカ・ヨーロッパ、アフリカ・オセアニア)を表していることはよく知られていますが、その他にも2つの意味があります。まずは、自然界の水の青、砂の黄、土の黒、木の緑、火の赤、そして、スポーツの5大鉄則である水・栄養・体力・技術・情熱の5つです。



いよいよ27日(サッカーは25日)から約2週間にわたってロンドンオリンピックが開催されます。鍛えられた身体からくり広げられる力強さ、躍動感、美しさを子どもたちと一緒に観戦し、スポーツや運動に興味関心を持ったり、家庭や友だち間でたくさんの会話が生まれたりすることを期待します。

1年生がみどり保育園とプールや芋掘りで交流！(保幼小連携事業)

10日、みどり保育園の年長さんと1年生がプールで水遊びをしました。始めに1年生が司会進行し、準備体操もしっかりリードしました。水深が50cmの中、カラーボールを拾ったり、ビート板で泳いだりしました。水を怖がる子もいませんでしたので、きっと来年も安心してプール利用ができることと思います。また、17日には、ジャガイモ掘りを一緒に楽しみました。予め保育園で茹でておいてもらった芋を園長先生から直接頂き、みんなでおいしく食べました。



ビート板で泳ぐの大好き！



これでボール3こ目だ！



大原先生も加わってジャガイモ掘り。

心肺蘇生法講習会が行われました！

7月5日、今年も6年生・5年生の保護者と希望された方々、職員が心肺蘇生法を学びました。今年も峡北消防署高根分署の救急救命士さんや署員さんを講師をお招きし、胸骨圧迫30、人工呼吸2



のリズムやAED（自動体外式除細動器）の扱い方について説明を受けました。その中で、AEDはあくまでも補完的なもので、やはり胸骨圧迫と人工呼吸が最も大事であることをお話しされました。そして、何回も「あなたの大事な人に何かあった時にできるように」と熱い言葉で説明されていました。

公私とも大変お忙しく、またとても暑い中での監視当番となりますが、子どもたちの安全のためによりしくお願いします。

田んぼで生きる生物を大搜索！（田んぼの学校：5年生）

6日、5年生が田の草とりと合わせて田んぼの中の生きもの調査をしました。この日は、山本さん以外に中北農務事務所から5人の生物に詳しい方に来て頂きました。田の草は、田んぼの中心付近では、取った草を泥の下に埋めるようにすると良いことや土を足で踏むことは稲の根をしっかりと根付かせることになることなどを教えてもらいました。また、生き物では、メスがオスの背中に卵を産み付けて育てる「コオイムシ」という虫に大変興味をもっていました。



これがコオイムシだよ。



いたいた、ヤゴだ！

学習後の感想文の中に、「稲にはヤゴの抜けがらがついていました。稲の上には、トンボがいっぱい飛んでいました。」という表現があり、この里山の自然環境がより良く守られていることにとてもうれしく思いました。

学習後の感想文の中に、「稲にはヤゴの抜けがらがついていました。稲の上には、トンボがいっぱい飛んでいました。」という表現があり、この里山の自然環境がより良く守られていることにとてもうれしく思いました。

菜の花の刈りとり、種とりに全校で参加！

「菜の花プロジェクト」

6日、梅雨の曇り空の中、昨年の秋に播いた菜の花の刈りとりと種とりを全校で体験しました。今回も山本さんをはじめ、北杜市観光協会高根支部、小池地区長寿者会、ハケ岳やさくらクラブ、中北農務事務所、北杜市役所の方々が参加しました。今回のような内容での企画は、初めてでしたが、「菜の花を刈りとり、種をとる、種から油を絞る」という一連の作業は、多分、普段あまり体験できない貴重なものになったと思います。また、菜種の量とできる油の量との違いに、普段何気なく使われている油ですが、その栽培の大変さや食物の大事さにも気付いたようです。



くきは以外と固いわ。



昔の足踏み式脱穀機に挑戦！



絞りとれる油の量は少ないね。

今学期最後の「お話し会」が行われました！

（5・6年生対象）

これまでの「お話し会」は、1年生対象、2～4年生対象、そして今回の高学年対象のお話し会と3回行って頂きました。昨日の19日5校時に行われたお話し会では、外部からの講師もお呼びしました。

まず、おはなしやさんによるお話は、パワーポイントを使っての



「ワシとミソサザイ」でした。お話の最後には、手作りの等身大の大きなワシと小さなミソサザイが登場し、その出来映えに目が釘付けとなりました。次は、落語研究家「河童」さんによる「はつてんじん」という落語でした。河童さんは、本名を川辺修作さんといい、甲府市にお住まいでスクールカウンセラーとしてもご活躍されているそうです。「河童」さんの落語は、素人とは思えない演技で、その表情に大きな笑いが何回も沸き起こりました。おはなしやさんの皆さんには、貴重な機会をつくって頂きまして本当にありがとうございました。